

# ステップアップ研修Ⅰ（２年次研修）・Ⅱ（３年次研修）実施要項

大分県教育委員会

## 1 目的

### 【ステップアップ研修Ⅰ】

幅広い知見を習得させるとともに、初任者研修で培った教育活動の基盤となる能力や実践的指導力の向上を図り、喫緊の教育課題への対応能力を養う。

### 【ステップアップ研修Ⅱ】

幅広い知見を習得させるとともに、教育活動の基盤となる能力や実践的指導力のさらなる向上を図り、喫緊の教育課題への対応能力を高める。

## 2 対象

県教育委員会及び市町村教育委員会が受講対象者を決定する。

### 【ステップアップ研修Ⅰ】（初任者研修を修了した者）

在職２年目の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭

### 【ステップアップ研修Ⅱ】（ステップアップ研修Ⅰを修了した者）

在職３年目の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭

## 3 校外研修

### (1) 内容（資料３～４ページ参照）

ステップアップ研修Ⅰでは、教科指導力及び家庭や地域等と連携する力の向上を図る内容を重点的に取り入れる。ステップアップ研修Ⅱでは、教科指導力の向上及び児童生徒理解の深化を図る内容を重点的に取り入れる。

### (2) 研修日数

ステップアップ研修Ⅰ及びⅡともに、年間２日の県教育センターにおける研修を受けるものとする。なお、特別支援学校の対象者については、ステップアップ研修Ⅱにおいて、設定した２日間から受講日を選択して受講するものとする。

また、小学校については受講日を２日に分けて設定し、受講教科及び受講日は以下のとおりに決定する。

### 【ステップアップ研修Ⅰ】※実践可能な教科を選択すること。

「国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語」の１０教科から、受講希望教科を３つ選択し、県教育センターが調整後、受講教科及び受講日が決定する。

### 【ステップアップ研修Ⅱ】※実践可能な教科を選択すること。

「国語、社会、算数、理科、体育、外国語」の６教科から、受講希望教科を３つ選択し、県教育センターが調整後、受講教科及び受講日が決定する。なお、ステップアップ研修Ⅰで受講した教科とは、異なる教科を受講することが望ましい。

#### 4 校内研修

(1) 実施期間

当該年度の2月末まで実施する。

(2) 実施単位時間

ステップアップ 研修Ⅰ	年間12単位 時間以上	※1回の研修時間は、2単位時間以内とすること ※研究授業を、年間2回以上実施すること
ステップアップ 研修Ⅱ	年間8単位 時間以上	(注) 小学校については、2回のうち1回は必ず校外研修 で受講する教科の研究授業を位置づけること

(3) 実施上の留意点

- ① 校内研修が適切に行われるよう計画し、副校長、教頭、主幹教諭等の校内の人材を有効に活用しながら、年間を通して系統的、組織的な研修を推進すること。
- ② 効果的なOJTが推進されるよう、校外研修の内容(小学校においては校外研修で受講する教科)との関連を図ること。
- ③ 初任者研修の教諭と合同での研修を計画する等、学校の実態に応じたグループによる「校内チーム研修」(「令和7年度初任者研修の手引」P.2、小・中P.15参照)と、放課後等に研修を実施する0.5単位時間の短時間研修を可能とする。
- ④ 研修期間中、やむを得ない事由により受講が困難となった場合、校長は県教育センターにその旨を連絡すること。県教育センターは、連絡を受けた後、その後の対応を協議する。

#### 5 「校内研修」年間計画書の作成について

- (1) 校長は、受講対象者の能力や適性等をもとに、ステップアップ研修Ⅰ及びⅡにおいて、校外研修の研修内容を生かして「校内研修」年間計画書(【様式1】資料5ページ参照)を作成する。
- (2) 校長は、作成した「校内研修」年間計画書を、市町村立学校においては市町村教育委員会教育長に、県立学校においては県教育センター所長に提出する。
- (3) 市町村教育委員会教育長は、所管する学校から提出された「校内研修」年間計画書を取りまとめて、県教育センター所長に提出する。
- (4) 作成上の留意点
  - ① 受講対象者の課題を明確にし、必要な研修を盛り込むため、ステップアップ研修Ⅰの最初にガイダンスの時間を位置づけること。
  - ② 研修の効果を高めるために系統性、連続性、PDCAサイクル等に配慮すること。  
※小学校の対象者は、実際に担当する教科(実践可能な教科)を選択し、その教科を「★研究授業」に位置づけることで効果的なOJTの推進に繋げる。
  - ③ 研修実施日は、年間を通してバランスよく設定すること。
  - ④ ステップアップ研修Ⅱの終了にあたっては、成果と課題を整理するための振り返りを位置づけること。

#### 6 「校内研修」実施報告書の作成について

- (1) 校長は、ステップアップ研修Ⅰ及びⅡの終了後、速やかに「校内研修」実施報告書(【様式2】資料6ページ参照)を作成する。
- (2) 校長は、作成した「校内研修」実施報告書を、市町村立学校においては市町村教育委員会教育長に、県立学校においては県教育センター所長に提出する。
- (3) 市町村教育委員会教育長は、所管する学校から提出された「校内研修」実施報告書を取りまとめて、県教育センター所長に提出する。

## 令和7年度ステップアップ研修Ⅰに係る「校外研修」一覧

【小学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回				
研修名	生徒指導・学校と家庭の連携・ 教科指導1 (社会・算数・生活・図画工作・体育選択者)	生徒指導・学校と家庭の連携・ 教科指導1 (国語・理科・音楽・家庭・外国語選択者)	研修名	教科指導2 (社会・算数・生活・図画工作・体育選択者)	教科指導2 (国語・理科・音楽・家庭・外国語選択者)		
期 日	5月27日(火)	5月30日(金)	期 日	11月10日(月)	11月11日(火)		
内 容	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 ー未然防止、早期発見、解決支援ー		内 容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)	美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)	美術館を活用した図画工作科指導
	学校と家庭の連携			美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)	美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)
	付けたい力を明確にした教科指導 ー言語活動の充実ー(教科別)			美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)	美術館を活用した図画工作科指導	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別)

【中学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回	
研修名	生徒指導・学校と家庭の連携・教科指導1 (高・音)(高・美)(高・家)		研修名	教科指導2・教員としての自覚と役割 (高・音)(高・美)(高・家)
期 日	5月20日(火)		期 日	11月25日(火)
内 容	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 ー未然防止、早期発見、解決支援ー		内 容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別) * 中堅(中)と合同
	学校と家庭の連携			組織の一員としての自覚と役割 (教科混合) * 中堅(中)と合同
	付けたい力を明確にした教科指導 ー言語活動の充実ー(教科別)			

【高等学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回	
研修名	生徒指導・学校と家庭の連携・教科指導1 (音・美・家は中学校に参加)		研修名	教科指導2・教員としての自覚と役割 (音・美・家は中学校に参加)
期 日	5月21日(水)		期 日	11月18日(火)
内 容	いじめ・不登校への3段階での教育相談の展開 ー未然防止、早期発見、解決支援ー		内 容	教科の目標の達成に向けた実践と今後の取組 (教科別) * 中堅(高)と合同
	学校と家庭の連携			組織の一員としての自覚と役割 (教科混合) * 中堅(高)と合同
	付けたい力を明確にした教科指導 ー言語活動の充実ー(教科別)			

【特別支援学校】

第1回		第2回	
研修名	他機関との連携・児童生徒理解	研修名	キャリア教育
期 日	7月9日(水)	期 日	9月10日(水)
内 容	教員生活2年目のスタートにあたって	内 容	特別支援学校・学級におけるキャリア教育
	教育と家庭、医療、福祉との連携		障がいのある児童生徒の自立と 社会参加に向けて
	視覚・聴覚・肢体・病弱の各障がいの 状態や特性等に応じた指導の実際と留意点		障がいのある児童生徒の キャリア教育の実際
	各障がいの状態や特性等に応じた指導の工夫		特別支援学校・学級における キャリア教育の進め方

## 令和7年度ステップアップ研修Ⅱに係る「校外研修」一覧

【小学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	生徒指導と集団づくり ・教科指導1 (国語・理科・体育選択者)	生徒指導と集団づくり ・教科指導1 (社会・算数・外国語選択者)	研修名	教科指導2・目指す教師像 (国語・理科・体育選択者)	教科指導2・目指す教師像 (社会・算数・外国語選択者)
期 日	6月3日(火)	6月6日(金)	期 日	1月20日(火)	1月22日(木)
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて		内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別) * 中堅(小)と合同	
	学級経営・教科指導につながる人間関係づくり			私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－	
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別)				

【中学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回		第2回	
研修名	生徒指導と集団づくり・教科指導1 (高・音)(高・美)(高・家)	研修名	教科指導2・目指す教師像
期 日	6月17日(火)	期 日	2月13日(金)
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて	内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別)
	学級経営・教科指導につながる人間関係づくり		私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別)		

【高等学校】※第1回研修以降に「実践報告シート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回		第2回	
研修名	生徒指導と集団づくり・教科指導1 (音・美・家は中学校に参加)	研修名	教科指導2・目指す教師像
期 日	6月11日(水)	期 日	2月10日(火)
内 容	「人間関係づくりプログラム」の実践に向けて	内 容	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて (教科別)
	学級経営・教科指導につながる人間関係づくり		私が目指す教師像－先輩教師の実践から学ぶ－
	各教科における主体的・対話的で深い学び (教科別)		

【特別支援学校】※第1回研修以降に「実践レポート」を作成し、第2回研修前に提出する。

第1回			第2回		
研修名	学習指導1 (A日程)	学習指導1 (B日程)	研修名	学習指導2 (A日程)	学習指導2 (B日程)
期 日	6月18日(水)	6月19日(木)	期 日	2月3日(火)	2月4日(水)
内 容	教員3年目のスタートにあたって		内 容	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業実践	
	特別支援学校・学級に求められる カリキュラム・マネジメントの在り方			自ら学び続ける教員を目指して －この3年間を振り返って－	
	教科等横断的な視点で組み立てた年間指導計画の作成				
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善				
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想				

【様式1】

令和7年度 ステップアップ研修（ ）に係る「校内研修」年間計画書

担当学年 \_\_\_\_\_ 所属名 \_\_\_\_\_

受講教科 \_\_\_\_\_ 受講対象者名 \_\_\_\_\_

特別支援学校は記載不要

校外研修 予定日	① 令和7年〇月〇日 (○) ② 令和 年〇月〇日 (○)
-------------	----------------------------------

【記入例】

回	研修期日	研修内容	指導者(職名等)	単位 時間	
1	令和7年 4月〇日(○)	ガイダンス (受講者の教育実践上の課題等を記入) ・学級のルールづくり ・ねらいを明確にした授業づくり	校長	1	
2	令和7年 5月〇日(○)	指導案審議	指導教諭 教科主任	1	
3	令和7年 6月〇日(○)	★研究授業 ・事後研含む	指導教諭 教科主任 学年主任	2	・学年部参加
4	令和7年 6月〇日(○)	その他 ・ICTの効果的な活用	指導教諭 教科主任 学年主任	1	・初任者を含めた校内 チーム研修
5	令和7年 8月〇日(○)	生徒指導	学年主任 生徒指導主任	2	・教育相談コーディネ ーター参加
○	令和8年 2月〇日(○)	成果と課題 ・1年間の振り返り	校長	1	・校内チーム研修を行う 場合は、参加者を明記 すること。
計				○	

・研究授業は★印を付けて年間2回以上実施すること。  
・小学校は、2回のうち1回は、必ず校外研修で受講する教科の研究授業を位置付けること。

・校内チーム研修を行う場合は、参加者を明記すること。

注意

【様式 2】

令和 7 年度 ステップアップ研修 ( ) に係る「校内研修」実施報告書

担当学年 \_\_\_\_\_ 所 属 名 \_\_\_\_\_

受講教科 \_\_\_\_\_ 受講対象者名 \_\_\_\_\_

特別支援学校は記載不要

校外研修 実施日	① 令和 7 年〇月〇日 (〇) ② 令和 年〇月〇日 (〇)
-------------	------------------------------------

【記入例】

回	研修期日	研修内容	指導者(職名等)	単位 時間	
1	令和 7 年 4 月〇日 (〇)	ガイダンス ・学級のルールづくり ・ねらいを明確にした授業づくり	校長	1	
2	令和 7 年 5 月〇日 (〇)	指導案審議	指導教諭 教科主任	1	
3	令和 7 年 6 月〇日 (〇)	★研究授業 ・事後研含む	指導教諭 教科主任 学年主任	2	・学年部 3 名参加
4	令和 7 年 6 月〇日 (〇)	その他 ・ICT の効果的な活用について	指導教諭 教科主任 学年主任	1	・初任者を含めた校内 チーム研修
5	令和 7 年 8 月〇日 (〇)	生徒指導 ・児童生徒との信頼関係の構築	学年主任 生徒指導主任	2	・教育相談コーディネー ター参加
〇	令和 8 年 2 月〇日 (〇)	振り返り (成果と課題) ・1 年間の振り返り ・来年度に向けての課題を協議	校長	1	・校内チーム研修を行う 場合は、参加者を明記 すること。
計				〇	

・研究授業は★印を付けて年間 2 回以上実施すること。  
・小学校は、2 回のうち 1 回は、必ず校外研修で受講する教科の研究授業を位置付けること。

・校内チーム研修を行う場合は、参加者を明記すること。

【ステップアップ研修 ( ) を通しての成果と課題】 (受講対象者記載)

【対象者のステップアップ研修 ( ) 全般を通しての所見】 (校長記載)

注意